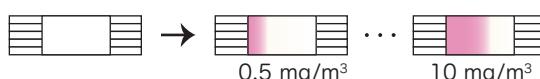


# DT21 クロロアセトフェノン(CN)



実寸(約10cm)

<b>感度</b>	0.5 mg/m <sup>3</sup>
<b>吸引量</b>	ハンドポンプ 30 回吸引(1 回 100 mL), 自動ポンプ 3 リットル(3L)
<b>色変化</b>	クロロアセトフェノンが存在する場合: 白色からラズベリーレッド色に変色します。
	
<b>反応原理</b>	m-ジニトロベンゼン[m-dinitrobenzene]との反応 (ツインメルマン反応[Zimmermann])
<b>解説</b>	検知管は1つの指示層と1つのアンプル(試薬溶液入り)で構成されています。指示層には、m-ジニトロベンゼン[m-dinitrobenzene]を含浸させたシリカゲルが含まれています。アンプルには、20%の水酸化ナトリウム[sodium hydroxide]が含まれています。
<b>検出方法</b>	①検知管の両端を折る。 ②ハンドポンプで30回(1回100mL)または自動ポンプで3L空気を送る。 ③アンプルを割る。 ④よく振り、アンプル内の薬剤を指示層に浸す。 ⑤色の変化を確認する。
<b>選択性</b>	CWA のうち、CS 剤もラズベリーレッド色(最小感度 1 mg/m <sup>3</sup> )となり、臭化ベンジルシアニド[bromobenzylcyanide]も同様の色となります。高濃度では、アセトン[acetone]、ブロモアセトン[bromoacetone]、およびツインメルマン[Zimmermann]反応を呈するその他の物質も同様に反応します。
<b>干渉性</b>	特記事項なし
<b>温度</b>	10~50 °C (10 °C以下では加熱が必要)
<b>湿度</b>	依存せず(反応過程で水が含まれるため)